

公表

事業所における自己評価結果

公表日 令和7年3月31日

事業所名	児童発達支援センター にじいろキッズらいふ				公表日	令和7年3月31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	3	<ul style="list-style-type: none"> ・途中入所や退所をあらかじめ想定して、人数の増減に備えたり、クラス替えをしたりしている。 ・マットやパーテーションを使用して遊びや活動の場を分けたり トイレの中も手作りの箱イス等を作り工夫している。 ・整っていると思う。 ・パーテーション等で、個別スペースを臨機応変につくっている。 ・バギーが置けるなど充分なスペースがある。 ・廊下などスペースの活用。 ・机やパーテーションなどを活用しながらもエリア分けされていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援室内の角や扉の間隙等、危ない箇所があるため改善が必要と思われる。 ・児童発達で使えるスペースが限られており、共有の場所が多く、日によっては使えないので困る。 		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	8	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスの実情に合わせ、職員配置がある。 ・他のクラスからフォローに行ける時は配置している。 ・園外活動や、午睡などリスクが高い活動に対して、時間単位で配置している。 ・受診や体調不良などの急な変更にも対応出来る。 ・限られた配置の中でできる活動の組み立ての試行。 ・お休みのときなども職員同士のフォローができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども〇人に対して支援者〇人の配置、だけでは難しい事が多い。こどもの状態によってはマンツーマンが必要なこともあり、工夫しつつ対応している。 また、お子さんの発達段階に合わせた配置が必要な場面もある。 ・国の配置基準より多い配置にしているのありがたいが、午睡中に廊下でお昼を食べるなど十分な休息を取れないので、そこは改善が必要だと思う。 		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすい構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	2	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにわかりやすいシンプルな室内環境であると思う。 ・特性に応じた配慮、環境になっている。 ・必要な情報に絞っているところ。 ・パーテーションやマットなどを使用しここは何をする場所かを分かりやすく示したり特性により気になる物は、職員間で相談した上で隠したり外したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスによっては排泄時にトイレが混み合い子どもを待たせる時間が出てしまう。 ・タオルかけフック、ボードをかけるフックなど常設されているとよい。 		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の清掃や消毒を行なっている。 ・毎日の掃除や消毒等の仕事分担をしながら取り組んでいる。 ・コロナ、胃腸炎など環境整備を徹底し変化に合わせ対応している。 ・毎日の掃除や環境衛生ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・壁紙が剥がれていたり、カーテンレールが壊れていたり、電気がつかなくなったりと、改善すべき箇所はある。 		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	6	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが精神的に不安定な時、パーテーションを利用し、1人の空間を設定していること。 ・保健室があるので、体調不良者が出た時は個別の対応が可能ですが、お子さんが個別で使える部屋はないので、パニックになった時などは同じ室内でパーテーションで区切るなどの工夫をしている。 ・マットや、パーテーションで場を区切って落ち着いて遊びや活動ができるようにしている。 ・活動部屋の他に個別に合わせ対応できる部屋や、区切りが出来るようになっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手な場面やパーテーション等で仕切ったりと工夫しているが、個別で集中したい時いつでも個別の部屋を使えるわけではない。いつでも使える空間があると良い。 ・緊急的な場面で個別対応できる部屋があると良い。 		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	14	4	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度必要時に、話し合いの場を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会等で意見を出し合う機会はあるがすべての事例に多くの職員で振り返ることがなかなかできない。 		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17	0	<ul style="list-style-type: none"> ・登降園の時間の保護者との情報共有が繋がっている。 ・個人ではもちろんだが、施設全体としても情報共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意向は職員にも周知されているが、すべてが業務改善に至らないことがあるかもしれない。 		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	3	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有しやすい職員関係であること。 ・関係者会議等で職員の意見を聞く機会は設けている。全員で聞けることは良い。 ・モニタリング、また、定期的な会議により改善に繋がるよう努力している。 ・ヒアリングやその都度時間を作ってもらえていて良いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の意見を伝える場はあるが、それが改善点として反映できていないこともある。 		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	5	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス全体、または、他クラス、上司といつでも話し合いのできる場、時間を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価で良い評価があるとこれからの支援にも活かしていきたいと思えるが、時間が経つと評価結果も薄れてしまうので、業務改善につなげていけたらよい。 		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	2	<ul style="list-style-type: none"> ・研修は参加も出来ているが 業務のため参加が難しい時間帯の研修もある。 ・定期的な研修、新人研修始め、様々な研修に参加させてもらえるよう配慮されている。 ・職員研修があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修はさせてもらっていますが、業務に密着した内容や、新人さん向け、臨時さん向け、などがあってよいのでは、と思う。 		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	2	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度中に公表します。 			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	17	0	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングや保護者面談を基に、計画を作成し検討している。 ・先生方の細やかなアセスメントや面談を元にニーズや課題にあった個別支援計画の作成に関係者で話し合っている。 ・保護者の思いとかけ離れた計画にならないようしっかり話し合い、アセスメントをする。 ・支援計画の書式がかわったが、今まで通り、ここはしっかりとできています。 			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	1	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者会議の中で みんなで話し合い同じ方向性で作成出来ている。 ・児に関わる全て、他部門との話し合いも充分に行っている。 			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16	1	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者会議の開催、支援の方法を共有している。 ・計画書がいつでも見れるように保管されている。 ・クラスごと支援者同士の情報共有ができています。 			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16	1	<ul style="list-style-type: none"> ・MEPAを活用 専門職の見立て等をカンファレンス。 ・月まとめをはじめ、クラス全体で常に情報交換している ・アセスメントシートを活用していると思います 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントシートは移行支援時、ケース引継時、関係者会議で使っているが、更に活用の仕方を考えていきたい。 		
	16	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	1	<ul style="list-style-type: none"> ・家族との情報共有はじり地域との連携をはかっている。 ・個別支援計画作成に多くの人、多職種の声が盛り込まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画等の書式が変わり、書き方見本、記入例を作成しているがこれからの部分もある。 		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児発管や専門職の観察、カンファレンスを用いている。 ・様々な部門との連携を行ってより良い案をたてる。 ・クラス活動は担任同士が話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当番等が多く、チームで話せない日もある。 		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	1	<ul style="list-style-type: none"> ・療育予定を基に日々や月に合わせ活動を組み立てている。 ・ルーティン化した日課の中に 発達に合ったプログラムを考えている。 ・月毎に、取り組みたいことを決めている。 			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	16	1	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に11職員などによる活動評価があり、アドバイスを受けながら修正や工夫をしています。 ・必要な配慮や環境設定等も盛り込んでいる。 ・児に合わせた支援を行っている。 			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	2	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の予定や流れを書いてある紙を掲示し、各自が確認できるようにしている。 ・活動の内容、支援者の役割、動き等を紙に記して共有、伝達している。 ・口頭、詳細のメモなどで連携を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせの時間が当番等で設けられないことがある。 		
	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	2	<ul style="list-style-type: none"> ・特に課題を感じた日や、イベント事があった日などは、振り返りを大切にしている。 ・当番の日もあるので 難しい日もあるがお子さんの状態やこうしていきたいと支援を振り返っている。 ・他クラスからアドバイスをもらう。 			

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	2			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16	1		・定期的に行っている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	2		・関係者が参加出来る日程調整をしてもらっている。 ・話し合いを重ねる。	・児発管、相談支援員と担任が情報を共有して会議に参加しているが、アウトリーチの場に担任が参加する機会が少ないので、担任も参加する機会が増えるが良い。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16	1		・相談員をはじめ話し合いの場を設けている。	・必要に応じて連携を取り支援に活かしているが、連携が難しいと思うことがある。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	1		・図られていると感じます。 ・併用に向けて園生活を想定した支援を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 (28～30は、センターのみ回答)	17	0		・学校生活へ向けての引き継ぎ書の作成をしている。 ・移行支援会議で十分に話し合いができています。	
	28	地域の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	13	4		・施設長や児発管、専門職は外部とのつながりがある。	・支援員はなかなか機会がないので他施設の取り組みを見る機会も欲しい。 ・会議等であったり観察の機会があったりするがすべての事業と連携がとれているかどうか。 ・研修会参加や、交流の場がもっと幅広くやれば良いと思う。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	15	2		・定期的に他部門との情報共有、支援を見てもらっている。	・参加したい研修に参加が出来ない場合もある。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 (31は、事業所のみ回答)	13	5		・代表者によって、積極的に参加されていると感じます。 ・管理者からの報告はある。	・自分も、積極的に…となると 参加は出来ていない。 ・個人的には、もっと参加できれば良いと思う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。					
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	16	1		・交流保育などの場を設けている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	17	0		・登降園時間を有効に利用し、情報共有がされている。 ・積極的に伝え 保護者の方と話すよう心がけている。 ・日々、コミュニケーションを心掛けたりノートの活用する事で情報共有している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16	1		・研修のお便りを配布し 情報提供している。 ・研修や、公演など情報の発信をしている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16	1		・オリエンテーション等で説明を行っている。 ・必要時上司からの細かな説明をしてもらうよう連携している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	17	0		・対象児がより良い支援が受けられるよう家族との情報共有を欠かさない。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	17	0		・担任による支援会議を行ない説明した上でサインを頂いている。 ・説明する時間をしっかりと確保している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16	1		・計画的な面談の他に 保護者からの相談があった時は、面談を行ない保護者の訴えに耳を傾けるようにしている。 ・話ができるような環境の配慮、いつでも話しかけやすい雰囲気や気をつけている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15	2		・親子での行事参加を計画し保護者同士の交流を図る。 ・クラス間での親子遠足、レクリエーションの場を設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	17	0		・相談があった時は すぐにお伺いするようにしている。 ・すぐに対応できるよう上司に相談し、配慮してもらう。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	16	1		・係を設け定期的に活動や行事の報告をしている。また、コトモンでお便りの配信をしている。 ・Instagramを活用したり、お便りの配信もできている。	
非常時等の対応	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	17	0		・毎年個人情報アンケートを取り、HP等へのアップの際に注意をはらっている。 ・名前が記載されている書類は特に慎重に扱う。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	17	0		・視覚支援等を用い、その方にあった伝え方で共有させて頂いている。 ・御家族との情報共有。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	15	2		・どのように地域の方に参加して頂けるか検討しながら、今年より行事等復活した。 ・地区の民生委員など見学してもらい日々の活動の様子をみてもらっている。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16	1		・年に数回は避難訓練を実施したり、マニュアルの確認等をしている。 ・コロナなど、その時々に応じて対策している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	1		・訓練を行うと改善点も見いだせてくる。寒い時期の防寒等 訓練はとて重要だと感じる。 ・定期的に行い、その日のうちに改善点など振り返りを行う。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	16	1		・それぞれ必要な支援についてファイリングし、誰もがいつでも確認できるようにし、非常時には持ち出せるように置き場所も周知されている。 ・入園時の面談やアセスメントを通し 確認徹底している 必要に応じ 対応マニュアル等を共有する。 ・一覧をつくり、すぐに対応できるよう配慮されている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	17	0		・栄養士とも情報共有している。（面談もある） ・厨房と連携共有し 対応にあたっている。 ・個別提供、机の分別などそれぞれに対応できている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な中で支援が行われているか。 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	16	1		・定期的な訓練を行っている。	・避難経路の確認をし、そこに物を置かない用徹底したい。
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16	1		・必要時SNSなどの発信。	・全てのことが 全職員間で共有されるよう工夫していきたい。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	17	0		・ヒヤリハットを報告し 改善点等を共有している。 ・全体での情報共有。	
52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	16	1		・虐待防止に関する研修がある。 ・支援する時に、常に頭入れながら対応。	・倫理委員会の開催や、研修等全職員で研修しているが 意識改革につながっているかは確認していかねればと思う。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	17	0		・危険を伴うとき、対象児の安全第一に考え御家族には、十分な説明をしっかりと行う。 ・計画に記載して、同意を得ている。	・年度途中の見直し等も実施を徹底してく。	